

議会だより

2022年2月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



12月定例会

第4回定例会は、12月9日から開会され、町長から提案のあった補正予算など 12議案を審議し、10議案を原案通り可決、2議案を継続審査とし、16日に一般質問等を行って閉会しました。

補正予算

補正予算の主なもの

◆災害復旧費
2575万円
11月9日から10日にかけての低気圧による大雨被害に係る災害復旧工事等

◆公共施設用地等買収費
513万円
寄附採納を受けた施設（旧光の家族）の敷地購入費

◆新型コロナウイルス接種体制確保事業
480万円
新型コロナウイルス3回目の接種に係る経費

◆健康管理システム改修
496万円
新型コロナウイルス接種業務に係る健康管理システムの改修

◆子育て世帯への臨時特別給付金
3860万円
18歳以下の子どもがいる世帯に対し、1人あたり現金で10万円を給付するもの（所得制限なし）

◆鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金
180万円
有害鳥獣の捕獲に対する補助

◆商工会運営費補助金（商工業新型コロナウイルス支援対策事業補助）
330万円
新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少している事業者（飲食業を除く）に対する支援を行うもの

◆医療機器整備事業（医療施設特別会計）
1030万円
豊頃町立豊頃医院で使用する眼底カメラ、心電図検査装置等備品の整備

◆大津増圧ポンプ場実施設計委託業務（簡易水道特別会計）
965万円
大津地区増圧ポンプ場の設計委託業務

会計名	補正額	総額
一般会計（第7号）	2,575万円	53億4,991万円
一般会計（第8号）	▲1億6,023万円	51億8,968万円
一般会計（第9号）	3,905万円	52億2,873万円
国民健康保険特別会計（第1号）	438万円	6億192万円
後期高齢者医療特別会計（第1号）	56万円	6,770万円
医療施設特別会計（第3号）	1,285万円	9,905万円
簡易水道特別会計（第3号）	1,371万円	3億1,743万円
公共下水道特別会計（第3号）	108万円	2億8,190万円

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

広報とよころ

議会だより

役場だより

▽12月定例会▽補正予算



〔条例改正等〕

▼豊頃町国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度における掛金の引き下げ（1万6000円から1万2000円）に伴い、出産育児一時金の相対的費用を現行（42万円）のまま維持するため、条例の一部を改正するもの。

〔その他の議案〕

▼町道の変更について（継続審査）
町道牛首別南33線（牛首別地区）の起点を変更し、延長を257mから1045.3mに変更するもの。

▼町道の廃止について（継続審査）
使用されていない町道農野牛礼作別線（農野牛地区）の路線を廃止するもの。

▼十勝圏複合事務組合規約の変更
ごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理・運営に関する事務について、令和4年4月1日から幕別町忠類地域を共同処理地域に加えるための変更。

主な審議内容

条例改正

○**穴谷議員** 条例の中に「町長が必要があると認めるときは規則で定めるところにより30000円を上限として加算する」とあるが、この部分についてはどういった考え方をしているか。
A 基本的には制度上の考え方を遵守し、状況に応じて判断をさせていただく。

町道の廃止

○**石田議員** 町道廃止後の用地の利用についての考えは。
A 用地については、大蔵省所管となっているため、町において活用する予定はない。

令和3年度補正予算

一般会計補正予算
○**穴谷議員** 公共施設用地購入について、土地と建物の取得に係る取り扱いが別々となった経緯は。
A 施設については、丸信産業（株）の所有で、令和2年から町が無償貸与を受けており、公

広報とよころ
▽主な審議内容
議会だより

役場だより

共施設として活用することを趣旨として、建物を寄付したいという所有者の申し出があった。町として利活用の方法を検討してきたが、土地の所有者が建物の所有者と別であるため、土地を購入しなければ公共利用が難しいという結論に至り、今回土地を取得することで予算を計上した。

○**穴谷議員** 今後の施設（旧光の家族）の利用計画については。
A 今年度連携協定を結んだ東京学芸大学との連携事業、合宿等で町内に訪れる方々の宿泊、期間的な移住体験、ワークショップなどに活用できないかなど、今後十分に検討し、利用方法についてお示ししたい。



寄附採納を受けた施設（中央新町）

○**穴谷議員** 本町で福祉灯油の支給に該当する世帯数は。
A 現在102世帯該当している。

○**坂回議員** 新型コロナウイルスの3回目接種について、本町における実施計画は。
A 2回目接種から8か月後に3回目を接種できるよう日程を調整し計画しているが、国から前倒しの基準が示されれば、早急に接種開始できるよう対応する。



ワクチンを2回接種された方に交付される接種済証

○**石田議員** 商工会に対する運営補助金（商工業新型コロナウイルス対策事業補助）の内容は。
A 飲食業以外の業種を対象に、令和元年度、2年度及び、3年度の売り上げを比較調査し、売り上げが減少している事業者に対し支援をする。



Q 小笠原議員 路線の整備について、国や道から事業費の配分が十分にされない状況が続いている。もう少し強く国や道に要請をしていただくようお願いしたい。

A これまでも北海道開発局への懸案事項の要望等、粘り強く進めている。出来るだけ国や道といった関係各所に足を運び要望をしていきながら対応していきたい。

Q 小笠原議員 令和2年度又は令和3年度に実施を予定していたサマーランド中学生派遣事業が、新型コロナウイルスの影響により実施が出来なかった状況である。オンライン学習やリモート交流などにより、学生同士の交流が出来ないかと考えるが、今後の計画は。

A 今年度、姉妹都市である滑川市とオンラインによるリモート交流を試験的に実施した。サマーランドを含めた姉妹都市との交流についても来年度以降検討していきたい。

ただ、サマーランドについては、時差の関係もあるので、関係部局とも連携をとりながら実施について検討を進めていく。

Q 石田議員 子育て世帯への臨時特別給付金の内容は。

A 18歳以下の子どもがいる世帯に対し、1人当たり10万円を給付するもの。

国の方針では当初5万円の現金と併せて5万円相当のクーポンによる給付だったが、自治体それぞれに給付方法の判断が認められたことから、本町では年内に10万円を現金で一括給付することとした。

なお、所得制限を撤廃した本町の独自の給付分については、町の一般財源で対応する。

Q 石田議員 給付金対象者の世帯数と人数は。

A 国の補助対象世帯は約2000世帯、人数は340人程度。本町単独分は20世帯で42人程度ということ把握している。

特別会計補正予算

(医療施設特別会計)

Q 大崎議員 豊頃医院における備品購入について、リース契約という考え方はなかったか。

A 豊頃医院において、積極的な健診事業を実施していただけたということや、医師からの要望もあり、今回は購入に係る予算を計上した。今後は指定管理者と情報共有をしながら、備品の導入を考えていきたい。

一般質問



岩井 明 議員

「デジタル化」等について

Q デジタル改革関連法施行に伴う行政の個人情報保護、情報漏洩に対する対応は。

A 按田町長 個人情報保護制度の見直しにより、関係法律が一本に統合され、全国的な共通のルールを定めている。個人情報の保護や情報漏洩対応に関しては、国から示されるものなどを遵守し、併せてセキュリティ関係についても十分注意しながら対応してまいりたい。

Q 行政デジタル化は、窓口対応の職員削減につながる恐れがある。行政デジタル化は、職員の代替ではなく補助手段としてと考えるが、行政の対応は。

A 按田町長

デジタル化により、住民利用者の利便性の向上や業務の効率化などが可能となるが、本町の規模を考えると、職員を減らした場合、住民サービスの質が低下する可能性がある。

今後業務が効率化していく中でも、町民への丁寧な説明やシステムの管理など職員の配置が必要な場面が多々あり、職員が不要にならないということは考えていない。



石田 貢 議員

ふるさと応援寄附金の活用について

Q ふるさと納税制度による寄附金は、まちづくりの財源として有効活用し、町のPR等に活用するとしているが、今後どのような活用方法を考えているのか。

また、現在基金としていくらか積み立てられているのか。

A 按田町長

現在は、返礼品として扱っている特産品のPRなどが主であるが、今後は観光振興や地域間交流など町の活性化を図る事業、移住定住関連事業、連携協定先との事

広報とよこら

議会だより

役場だより



業といった豊頃町を外向けに発信していく事業のほか、子育て関連施策、教育、地域づくりにも活用していきたいと考えている。
また、この制度による寄附金の内、令和2年度末までにふるさと振興基金として、7857万8千円が積み立てられている。

**まちなか活性化拠点施設
「一般社団法人」の
運営体制について**

Q 互産互生推進事業をはじめ各種事業活動を行っているが、現在の事業運営状況は。

A 按田町長
本町の地域振興、まちづくり、地方同士の連携に関する活動を行い、地方創生に関する互産互生推進事業や地域ブランディング事業など、本町を内外に発信する事業を実施しており、またココロコテラスの管理運営、ジューエリーハウス・コミュニケーションスペースえんがわの管理、とよこ物産直売会の事務を受託し、運営をしているところである。

Q 指定管理者制度への移行について、いつ指定管理者に移行しようと考えているのか。
A 按田町長

指定管理者は、現在施設を管理している法人を含めた町内の事業者にお願したいと考えているが、指定管理を受託できる体制をしっかりと整備しなければならず、そのため移行の具体的な時期については、現時点では未定であり、できるだけ早い段階で議会にお示ししたいと考えている。

Q まちなか活性化拠点施設に商工観光課職員が勤務しているが、本庁舎に戻すべきではないか。
A 按田町長

商工観光課は、一般社団法人ココロの設立・運営のサポート、地場産品の開発や観光資源のブランディング、プロモーションなどまちづくりと観光PRなどを推進するために当該施設に配置している。当該施設が指定管理により運営される場合や、機構上の効率化により、役場庁舎内に課を配置する必要性が生じることも想定される。

行政機構の見直しについて

Q 職員の年齢構成が変わりつつある中、全体的な業務体制の見直しが必要だと思うが、行政機構の見直しをする考えは。

A 按田町長
再任用職員制度や段階的な定年の延長により、幅広い年齢層で組織構成がされることとなる。国の動向や地域の実情に即した行政組織が求められていることから、限られた人数の中でより効率的で組織的な業務体制の確立のため熟慮しており、行政組織機構の見直しについては、今後調整を行い、お示しできればと考えている。



杉野好行 議員

新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について

Q ワクチンの接種者は何歳からで、対象者に対する割合は
A 何パーセントになったのか。
A 按田町長

ワクチン接種対象者は12歳以上からで、対象者数は全体で2,843名である。12月1日現在で、2回接種を完了した方の割合は91.7%となっている。

Q 接種券を送付した町民の中で、接種を受けなかった町民

に対してはどのような対応をとったのか。
A 按田町長
一人暮らしの高齢者など、一部の未接種者については、訪問の際に状況を把握し、予約調整や会場への送迎などを行うなど、接種機会の確保に努めてきている。
また、保健センターに新型コロナウイルスワクチンに関する相談窓口を設け、接種に対する不安や心配のある方の相談にも随時対応しており、今後の接種に関しても同様に対応していきたいと考えている。

**特別養護老人ホーム
とよこ荘の施設見学**

第4回定例会閉会后、議員全員で、既存施設の改修を終えた特別養護老人ホームとよこ荘の施設見学を行いました。

施設内見学に先立ち、施設長から設備の説明や今後の運営等について説明を受け、意見交換を行いました。



改装された施設内を見学

総務文教常任委員会レポート

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、11月4日、いまだ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症や、気候変動による大災害から町民を守るための防災体制について、説明聴取及び備品の整備状況調査を行いました。

1 調査の経過と結果 (1) 豊頃町地域防災計画の見直しについて

豊頃町地域防災計画は、平成31年3月に見直しを実施した以降、見直しをしていないことから、今後、国の防災基本計画や北海道地域防災計画との整合を図るとともに、現在想定される被害に対応した内容へと見直し、国、道等の防災関係機関及び町民や事業者等と連携を図りながら、町の組織機構に合わせた本身体制や業務の内容と整合を図るなど必要な修正を行うこととしている。

(2) コロナ禍に対応した避難所訓練等について

コロナ禍を想定した避難所の運営については、昨年10月にえる夢館において避難所開設の実践訓練を実施している。

今後は、訓練を基にした「感染症対応避難所運営マニュアル」を今年度中に作成し、実践に向けての対応を図ることとしている。

(3) 各地域における避難訓練の実施について

例年、大津地域において実施している避難訓練については、コロナ

禍で実施されていない状況で、他の地域では自主防災組織において1地区で、連絡網を活用した伝達訓練を実施している。



担当課からの聞き取り

今後は、町内5地域に組織されている5つの地域防災組織との連携を図りながら、コロナ禍に対応した避難訓練のあり方を検討するとともに、町の指導の下に自主的な実施について各地域に協力を求めていくこととしている。

(4) 災害時における役場業務の危機管理体制について

現在、災害時における役場職員個々の業務分担については、災害対策業務及び通常業務それぞれに特段の定めは無い状況であり、それらの対応について全職員が共通

の認識のもとにはない状況である。

今後は、災害時における通常業務遂行のための指針となる「業務継続計画」を今年度中に作成し、その計画を基にした災害時の対応を全職員共通の認識で実施していくこととしている。

(5) 災害対応備品等の整備状況

昨年度から簡易ベッド、間仕切テントなどコロナ禍に対応した備品等の整備を進めていることが確認できた。今後においても備蓄食料等を含め災害対応備品等の整備を進めていくこととしている。



災害備品の整備状況確認

2 まとめ

本調査では、現時点でのコロナ禍における町の防災体制を確認す

ることができた。

今後は、「豊頃町地域防災計画」の見直しや「感染症対応避難所運営マニュアル」及び「業務継続計画」の作成などにより、防災体制をより確実なものとするよう検討されてはいたが、各地域での避難訓練の実施状況や災害時における役場職員の避難所での行動及び通常業務についての模擬訓練等の実施が不十分であるとともに、町内にある医療施設等を含めた公施設を避難所として有効利用することも検討する必要があるとの意見が出されていた。

また、コロナ禍において防災体制をより強固なものとするには、町民及び関係機関との関わりを強くし、町全体で災害に強いまちづくりの取組みを進めるべきとの意見が出された。



備蓄されている非常食

広報とよころ

議会だより

▽総務文教常任委員会レポート

役場だより



意見書

- ① 赤潮被害救済措置と赤潮対策への早急な対応を求める意見書
- ② 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書
- ③ 燃油価格高騰対策など国の農業予算等に関する意見書
- ④ 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

①～③は産業厚生常任委員会、④は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、坂口尚示委員長、小笠原茂人委員長から提案説明され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する坂口尚示委員長（左）と小笠原茂人委員長（右）

広報とよころ

議会だより
ほか

役場だより

第2回臨時会 (11月4日開催)

▼令和3年度一般会計補正予算
(第6号)

道東太平洋沿岸において発生した赤潮の影響により、多大なる被害を受けた漁業者に対する支援を目的とする交付金及び新型「口ナワクチン」の3回目接種に対応するためのシステム改修に係る経費合わせて1031万1千円を追加し、予算総額を53億2416万3千円とする補正予算案を審議。原案のとおり可決しました。

〔主な審議内容〕

◎**坂口議員** 赤潮被害に対する今後の対策は。

◎**A** 今回の支援は、町でできる範囲での緊急支援である。国や北海道から色々な対策が出ると思うので、大津漁協と調整し対応したい。

◎**石田議員** 豊頃・浦幌両町で行う今回の支援における、交付金の内訳は。

◎**A** 2町で1000万円ずつを拠出し、サケ定置網11力統に100万円ずつ給付し、残りの900万円は、損失の補填や斃死したサケの処理、今後のシシャモ等他魚種への対応に活用していただくことを想定している。

議会日誌

〔12月〕

6日 議会運営委員会
9日 第4回定例会(1日目)
(補正予算、条例改正ほか)

16日 総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
第4回定例会(2日目)
(一般質問、意見書ほか)

〔1月〕
11日 議会広報特別委員会
21日 令和4年第1回臨時会
(補正予算ほか)
28日 産業厚生常任委員会
(所管事務調査)

◎今後の予定

〔2月〕
4日 総務文教常任委員会
(所管事務調査)
28日 一部事務組合議会定例会
↳帯広市

〔3月〕
1日 議員全員協議会
7日 議会運営委員会
10日 令和4年第1回定例会(1日目)
(補正予算、条例改正ほか)
16日 令和4年第1回定例会(2日目)
(令和4年度当初予算ほか)
22日 令和4年第1回定例会(3日目)
(一般質問、意見書ほか)

※日程は変更する場合があります。